

岩淵真奈さん

サッカー選手

10代の大半を武蔵野市で過ごした後、国内外のクラブチームで、またサッカー日本女子代表として、活躍を続ける岩淵真奈さん。故郷・武蔵野市とサッカーへの熱い想いを語っていただきました。



小学6年生から19歳でドイツに渡るまでずっと武蔵野市に住んでいて、今も実家は市内にあります。小学生のときは、武蔵野東小学校に通いながら、関前南小学校のサッカークラブに所属していました。クラブの練習以外でも、休日には大師通り公園やしろがね公園、都立武蔵野中央公園などに出かけて、同じ小学校のチームメイトと一緒に、朝からサッカーをしていたことを覚えていきます。

武蔵野市の魅力は、なんといっても、住みやすいところです。たとえば、ドイツやイギリスなどでは、自然豊かなエリアと市街地とはつきりと分かれていることが多い、両方の良さを楽しめる場所はありません。その点、武蔵野市は、緑が多くて、落ち着いた雰囲気の中で過ごせるのに、衣食住に必要なものは何でもそろっているんですよ。外食をするにも、吉祥寺駅周辺においしいお店がたくさんあります。おまけに、いざとなったら、都心にも電車ですぐ出られるから、本当に便利です。

実家に帰ってきたときには、幼稚園時代

からの親友に会ったり、愛犬の散歩をしたりにして過ごします。市内を歩いていると、声をかけてくださる方もいて、武蔵野市の皆さんにすぐ応援していただいているのを実感します。やっぱり、自分にとってのホームなんだあって。

そんな皆さんの期待に応えたいという想いがあり、またサッカー選手としての立場からも、たとえ無観客であっても、東京オリンピックが無事に開催されることを心から願っています。その直前の代表メンバーが発表される日まで、けがをせず、成長を続けられるよう、クラブチームでの活動に集中して取り組んでいきたいです。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、世界中の人々が不便な生活を強いられています。武蔵野市の中学校、高校に通う皆さんも、学校行事や部活動を満足に行うことができなかもしれません。でも、自分が一生懸命になれるものに関しては、諦めず、できることを探して、楽しみながら続けてほしいと思います。それが、私にとっては、昔も今もサッカーなんです。

市内を歩いていると
声をかけてくれる方もいて
やっぱり自分にとっての
ホームなんだあって



写真=大木雄介

岩淵真奈(いわぶち まな) 2007年、14歳でなでしこリーグの日テレ・ベレーザに2重登録されると、翌年にはトップチームへ昇格し、リーグ新人賞を受賞。以降2012年までに64試合に出場し30得点をあげる。2013年、海外リーグに初挑戦。バイエルン・ミュンヘン(ドイツ)ではリーグ2連覇を経験。2017~2020年まではINAC神戸に在籍し、2020年12月21日にアストン・ヴィラLFC(イングランド)へ移籍した。日本代表(なでしこジャパン)としても2010年より活躍している。

*今回の取材はオンライン(イギリス~日本間)で行いました。